

# 5部

オンデマンド・  
スクーリングのご案内



## ●オンデマンド・スクーリング 1～3期

※同一期に複数科目の申込みができます。

期	(注1)			科目名	申込締切	受講開始	受講料 納入締切	スクーリング 試験締切 (正午) (注2)	S単位	受講料	
	～ 2002	2009 ～ 2011	2012 ～								
1		★	■	保健医療サービス論(注3)	4/2	4/13	4/23	5/5	1	5,000円	
		★	■	医学一般(注3)					1	5,000円	
	心理系			心理アセスメント					1	5,000円	
		★	■	社会福祉援助技術総論					5/12	2	10,000円
	◆	★	■	地域福祉論						2	10,000円
2	◆	★	■	福祉心理学	4/16	4/27	5/7	5/26	1	5,000円	
			■	精神保健福祉の理論					1	5,000円	
	◆	★		精神保健福祉論Ⅰ					6/2	2	10,000円
	◆	★	■	社会保障論(注3)						2	10,000円
	心理系			認知心理学(注4)						2	10,000円
3	共通基礎			ボランティア論	4/30	5/11	5/21	6/9	1	5,000円	
		★	■	社会福祉援助技術論A					1	5,000円	
			■	精神保健福祉のサービス					1	5,000円	
	◆	★		精神保健福祉論Ⅱ					6/23	2	10,000円
		★	■	社会福祉援助技術総論						2	10,000円
心理系			老年心理学								

(注1) ◆2002～2008年度入学者 ★2009～2011年度入学者  
■2012年度以降入学者向け科目

(注2) スクーリング試験受理連絡は、スクーリング試験をご提出いただいたメールアドレスに返信します。

(注3) 資料は受講開始日以降ご自身でダウンロードしていただけます。

(注4) 2017年度で最終開講となる予定。

※ 必要事項はメールでご連絡しますので、受講期間中はこまめにご確認ください。

※ 申込締切日以降に受付手続きを行います。

※ 別レポートの解答期限は、『試験・スクーリング情報ブック2017』p. 55、および「試験要領」参照。

## 【重要】

オンデマンド・スクーリングを受講するにあたっては最新の『学習の手引き』（通信教育部ホームページより閲覧可）の「TFUオンデマンド」を必ずご参照ください。

※ オンデマンド・スクーリングの講義概要は、収録された年度によって異なります。オンデマンド・スクーリング専用のスクーリング講義概要は、「TFUオンデマンド」の「各種申込」よりご確認の上お申込みください。

送付・連絡物	通知方法	留意点
受講料納入 依頼書	郵送	申込締切後1週間以内に届かない場合は、至急お申し出ください。
試験要領	受講開始日以降「TFUオンデマンド」上から自身でダウンロード	郵送はいたしません。受講科目のコンテンツ内より自身でダウンロードし、必ず内容（スクーリング試験課題や留意事項等）を確認してから受講してください。
講義資料 （資料のある 科目のみ）	受講開始日以降「TFUオンデマンド」上から自身でダウンロード（一部科目は郵送）	郵送の場合は、ダウンロードした『試験要領』に記載があります。受講開始日までに届かない場合は、至急ご連絡ください。
視聴開始連絡	「TFUオンデマンド」上の「お知らせ」および一括送信メール	受講開始日までに届くことをご確認ください（メールが届いていない方はご自身の受信設定をご確認ください）。

## スクーリング・アンケートより(1)

アンケートより、スクーリング講義の感想を抜粋しました。

### ●人間と教育 寺下 明 仙台

- ・教育の考えの変遷、歴史、背景を教えてくださいましたが、そこに心に響く言葉の数々にとても感動しました。多くの受講生の励みと背中を押してくださったと思います。自己紹介を取り入れていただき、多くの人たちと共有感が生まれ、また自分も頑張ろうという気持ちになりました。

### ●社会福祉原論（職業指導を含む） 齋藤征人 札幌

- ・スクーリングを通して、自分自身のものの見方や捉え方に変化があったように思います。先生がおっしゃっていたように少し社会福祉の学習が深まり、なかなか進まなかったレポート課題にも、先生からたくさんのお言葉をいただき、自分なりの社会福祉観を整理してみようと思いました。

### ●就労支援サービス論 三浦 剛 仙台

- ・相談援助と就労支援サービスについては、一見するとあまり関係のないように思えたが、歴史や障害者、貧困問題などの現代社会の現状を繋げて考えると、社会福祉士は就労支援の相談援助技術の必要性を考えることができた。学習していてもおもしろさを感じた。
- ・ホームレスの支援において、就労と住居を提供することが最も簡単な支援と思いがちだが、それほど簡単ではなく「社会的排除があったから現在がある。」という事実をしっかり受け止めることが必要だと感じた。本人の意思を尊重し、ホームレスを作らないことや受け入れるといった社会改革や意識変化をもたらすことができるソーシャルアクションの必要性を学んだ。

### ●地域福祉論 柴田邦昭 盛岡

- ・地域福祉が大事であるということは何となく感じていましたが、今回の講義で地域での福祉がいかに難しいことかを改めて感じた。またコミュニティソーシャルワークという仕事があることも初めて知った。講義を受けたことで現代福祉を考えると地域福祉を理解していかなければならないと感じた。

### ●心理学概論 佐藤俊人 仙台

- ・教科書のみでは学習を進めることは困難だったのですが、具体例を多く取り入れたとてもわかりやすい講義でした。
- ・ポルトマンの生理的早産説。早産で産まれる必要性。そこに人間と動物の大きな違いがあるように思えた。母子愛、人間愛を育む大切な時期としての、必要な期間である。